

# 9月23日

## 「80年目の南京」 結成集会

### 記念講演：教科書から消されていく「南京」

#### 相可文代さん（子どもたちに渡すな危ない教科書・大阪）

政権の歴史改ざんと道徳教科教化は何をもたらすか？

安倍政権を支える最大の右翼団体日本会議は、「南京大虐殺」の否定を始めとして、加害の歴史を否定する教科書の作成・採択運動を20年間に渡って続けてきた。この二者の「悲願」は、「戦争をする国」の憲法制定と愛国兵士の育成である。

森友学園問題では、歴史修正主義者が「愛国心」を刷り込み、若者をふたたび戦争へと駆り立てようとする悪たくみと政治家との癒着を露呈した。

現在、小学校道徳教科書の採択業務がおこなわれており、8月末までには各地で決定される。本集会では、小学校道徳教科書の採択結果について報告し、さらに「南京大虐殺」は中学校歴史教科書でどのように記述されているか？新学習指導要領と新検定規準で加害の記述はどのように変わるのか？をお伝えする。戦前55年間の「教育勅語」教育がもたらしたものをかえりみつつ、二度と戦争をしない社会をどうつくるのかを考えたい。

#### A社の「南京」

日中戦争の始まり そのころ中国では、国民政府と、毛沢東の指導する中国共産党との間で内戦が続いていた。根拠地を延安に移した共産党は、国民政府に対し、協力して日本に抵抗することを呼びかけ、1936年、内戦は停止されました。そして、中国は、満州から中国北部へ勢力を拡大しようとする日本と、対立を深めるようになりました。

1937年7月、北京郊外の盧溝橋で、日本軍と中国軍の武力衝突(盧溝橋事件)が起こったのをきっかけに、日中戦争が始まりました。8月には上海にも戦線が広がり、宣戦布告のないままに、日本軍は次々に兵力を増強して戦線を拡大しました。12月に占領した首都の南京では、捕虜や住民を巻き込んで多数の死傷者を出しました。



南京の苦痛を弔う東京の戦の様子  
このできごと(南京事件)は、戦後の昭和国際軍事裁判(東京裁判)で明らかになりました。犠牲者の数などについてはさまざまな説があります。

「た」行半で「多数」てなんや!

故意にうすめている

相可文代 元中学校社会科教員。「子どもたちに渡すな!あぶない教科書大阪の会」事務局。  
「育誠社・自由社教科書の採択に反対して活動。今年は小学校道徳教科書の採択問題に取り組んでいる。」

※ 南京大虐殺は80年目を迎えました。当時10歳だった被害者は90歳。証言できる方は少なくなりました。加害の側の元兵士もたった一人しか生存していません。多くの体験者が世を去りました。保守政治家の多くは、南京大虐殺の史実を認めず、あいまい化し、教科書から消し去ろうとしています。しかし私たち銘心会南京などは、今年も南京へ出向き、南京側との共同調査を続け新しい証言者を掘り起こしています。また心のケアも続け民衆同士の交流をしています。市民の皆さんの支えがあってこそです。結成集会と講演にぜひお越しください。

**日時：9月23日(土) 午後1:30 開場 2:00 開演**  
**場所：ドーンセンター大会議室 (地下鉄京阪「天満橋」①番)**  
**進行：① 記念講演「教科書から消されていく南京」相可文代さん**  
**② 80年目の南京結成集会・これからの取り組みと意義**  
**③ 11月26日(日)の企画紹介「映像・外国人が見た南京大虐殺」**  
**「兵士が眼にした南京大虐殺」「記者が報じた南京大虐殺」**  
**主催：80年目の南京準備会 090-8125-1757 資料協力金：500円**

